

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

ピアノ演奏や合唱団の伴奏、学校の音楽教師の経験や教科書教材の作編曲、読譜指導等の実務経験を生かして、「音楽実技Ⅰ」と同様、レベルに応じたピアノの個人レッスン（45分）と合同授業を交互に行います。クラス授業（45分）では、保育・教育現場で扱う頻度の高い歌唱曲へアプローチしながら、基礎的な音楽理論を学ぶとともに、「ぶんぶんぶん」「きらきら星」の全調課題への取り組みを通して、鍵盤に親しみながら相対音感を育てます。個人レッスンでは「音楽実技Ⅰ」のピアノの基礎的な力をさらに伸ばし、弾き歌いの方法を中心に、保育・教育現場で役立つ音楽実技の能力を高めます。

授業計画

第1回	(クラス授業) ガイダンス、夏休み課題(実習用の曲) (個人レッスン) 個々の学生の進度に応じたピアノの個人レッスン	
第2回	(クラス授業) リズムの記譜と表現	(個人レッスン)
第3回	(クラス授業) 「ぶんぶんぶん」の全調課題演習	(個人レッスン)
第4回	(クラス授業) 歌唱曲へのアプローチのしかた	(個人レッスン)
第5回	(クラス授業) バス音とメロディ	(個人レッスン)
第6回	(クラス授業) 和音(Ⅳ・Ⅴ ₇)による伴奏、歌唱曲の演習	(個人レッスン)
第7回	(クラス授業) 中間実技テスト、手遊び曲、大譜表伴奏譜の記譜法	
第8回	(クラス授業) 手遊び曲、大譜表伴奏譜の記譜法(課題提出)	(個人レッスン)
第9回	(クラス授業) 保育の歌、小学校歌唱教材の演習	(個人レッスン)
第10回	(クラス授業) 保育の歌、小学校歌唱教材の仕上げ	(個人レッスン)
第11回	(クラス授業) I,Ⅳ,Ⅴ,Ⅴ ₇ の伴奏による「きらきら星」全調課題の演習	(個人レッスン)
第12回	(クラス授業) 「きらきら星」全調課題のテスト	(個人レッスン)
第13回	(クラス授業) 和音による伴奏	(個人レッスン)
第14回	(クラス授業) 歌唱曲の演習	(個人レッスン)
第15回	(クラス授業) I,Ⅳ,Ⅴ,Ⅴ ₇ の和音による伴奏、歌唱曲への応用	(個人レッスン)
第16回	期末実技試験	

到達目標

「音楽実技Ⅰ」をさらに深め、小学校、幼稚園、保育の現場での実習や実践に対応できるよう、扱う頻度の高い歌唱曲の歌唱、伴奏を通して、音楽的で感性豊かな表現力を高めるとともに、教材研究を行い、個々の教材を教育・保育の様々な活動にどのように広げていくかを考えます。今期は、「ぶんぶんぶん」「きらきら星」の全調の和音伴奏および弾き歌いをマスターします。

履修上の注意

学生の進度によりシラバスの内容が前後することもあります。個人レッスンでは夏休み課題の実習用の曲の合格が、またクラス授業では「ぶんぶんぶん」I・Ⅴ₇、「きらきら星」I・Ⅳ・Ⅴ・Ⅴ₇の伴奏の全調課題の合格が必須です。休まずすべての授業に出席することが大切です。「クラス授業」もしくは「個人レッスン」のどちらかを休むとその日は欠席となります。また、遅刻3回で欠席1回とします。個人レッスンはグループ全員で受講しましょう。

予習・復習

練習では必ず目標を立て、そのつど、どこまでできたかを確認しましょう。練習してうまくいかないところが現在の自分の課題です。それをどのように克服したらよいかを先生に相談しましょう。積極的に学ぶことが大切です。実習や就職してから必要とされる音楽的能力や指導力を身につけるには、日々音楽に向き合い、考え、向上していく構えを身につけることが大切です。そのため、毎日欠かさず練習しましょう。

評価方法

練習状況および授業態度(20%)、実技試験(50%)、全調課題(15%)、音楽理論の提出物(10%)、学習記録(5%)を総合して評価します。

テキスト

合同授業用

・教科書名：改訂 ポケットいっぱいのおうた
 ・出版社名：教育芸術社
 ・出版年(ISBN)：9784877884857
 他にプリント配布。

個人レッスン用

『おとなのためのピアノ教本』Ⅰ～Ⅴ巻(ドレミ楽譜)
 使用する巻は進度に応じる。授業内で販売。